

「向学の熱」

令和6年度 竜北中学校 学校便り 第4号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

～ 鍛練の汗光る！ ～ 熊本県中体連総合体育大会の結果

7月20・21日に行われた、熊本県中体連総合体育大会では、八代中体連の代表としてサッカー部、女子バレーボール部、柔道部（女子団体・個人）が参加しました。柔道女子団体戦は、予選リーグを2位で通過し決勝トーナメントへ進出しましたが、準優勝の九州学院に惜しくも敗れ「ベスト8」という結果でした。

サッカー部は1回戦、1-3で力合中（熊本市）に敗れ、女子バレーボール部も1回戦、1-2で飽田中（熊本市）に敗れました。両チームとも1回戦で敗れましたが、最後までよく走り・ボールをつなぎ、諦めない戦いぶりは応援している者に感動を与えてくれました。女子柔道個人戦へは、4名が出場しました。4名ともに1回戦の壁が厚く、残念ながら2回戦進出はなりませんでしたが、粘り強く闘う姿はとても立派でした。

3年生にとっては、この大会がこれまで頑張ってきた部活動の区切りとなるものでした。それぞれが掲げてきた目標には届かなかったかもしれませんが、部活動を通じて得たものは何物にも代えがたい大きな、そして素敵なものがあったと思います。まだ中学3年生、これからの人生の方がはるかに長いのですから、部活動で得た学びをしっかりと今後の生活に生かして欲しいと思います。

「心のきずなを深める」集会

本県では、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、学校・家庭・地域が連携し、生徒間だけでなく、生徒と教職員、保護者や地域住民等との「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指して、いじめの未然防止に重点を置いた取組を実施しています。本校においても、生徒一人一人がかけがえのない「命（自分）」を大切に、互いを思いやり認め合う中で、いじめをなく



し、よりよい人間関係をつくりあげていくことを目的とし、様々な取組を進めてきました。6月に行った学習の総括として、7月18日に「心のきずなを深める」集会を実施しました。集会では、各学級が考えた「学級人権宣言」の発表や、個人がつくった人権標語の発表がありました。

いじめは、どの学校（学級）でも起こりうるものです。今後も、地域・保護者の協力を得ながら、いじめの未然防止・早期発見に努め、『いじめ「0」の学校・いじめ見逃し「0」の学校』づくりに取り組んでいきます。

チャレンジ(挑戦)する夏休みに！

「失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れろ。あなたが失敗することは、あなたが何かを学んでいることを意味する。あなたが何もしないことは、何も学ばないことを意味する。」 -ポール・アレン（1953- 2018, マイクロソフト社創業者）-



早いもので、1学期も7月19日に終業式を迎え20日から37日間の長い夏休みに入りました。この1学期皆さんは、どんなことにチャレンジ（挑戦）しましたか？「できないことをできるようになろう」というチャレンジ。「できることを毎日続けよう」というチャレンジ。「自分でなく、まわりの誰かのため」のチャレンジ。「みんなのために楽しい行事を創ろう」というチャレンジ（生徒会役員のみなさん頑張ったね!）。「いろいろなことに挑戦する」というチャレンジ。「一つのことを貫き通す」というチャレンジ。

生徒の多様なチャレンジを、認めること。応援し続けること。チャレンジの「場」をつくってあげること。それが、今、教育に求められている大切なことの一つであると思っています。そして、我々職員は、価値あるチャレンジとして、そのことを応援していきたいと思っています。

当たり前のことですが、令和6年度の夏休みは1回しかありません。この休みをより充実したものにするために、皆さんはどんなことに『チャレンジ』しますか！？